

「貫志」～最後の最後まで～

## 宇佐高 進路だより

No. 9 平成31年 1月8日 発行元：宇佐高等学校進路指導班



☆ いよいよ1年の締めくくりである3学期です！

冬休みが終わりました。どのような冬休みを過ごしたでしょうか？冬休み前に渡した「進路だより」の内容は実行できたでしょうか？自信をもって「できました！」と答えられる人は素晴らしいと思います。一方、そのように答えることができない人は反省をしなければなりません。反省をすると同時に「なぜできなかったのか」を考えてください。これは今後のためにもなりますので、必ずお願いします。

大抵の人は休みに入る前は、「休み中にこういうことをしよう」という気持ちを持つはずですが、それがなぜきちんと実行できないのでしょうか？（勿論、できない人に行っているのです）理由はいくつか考えられます。

- ①つい、時間はまだあると考えてしまう。
- ②楽しいことの誘惑に負けてしまう。
- ③休み明けやその先のことに対する意識が低い（今のことしか考えない）
- ④休み中に予想外のことが起こる。

などです。④については仕方ない部分もありますが、その他が理由の人は『時間に対する考え方』を変えてください。当たり前のことですが、人間1人に与えられた時間は有限です。高校時代に与えられた時間は有限の有限です。「そんなことはわかっている！」という声が聞こえてきそうですが、本当にそうでしょうか。時間に流されていませんか？時々で構いませんので、自身を振り返りながら毎日を過ごしていきましょう！そのときポイントになるのが、“オン”と“オフ”の切り替えです。つまり、自分のやりたいこと（趣味等）と勉強をするときのけじめをきちんとつけるということです。1日のすべての時間を自分のやりたいことだけに使うのはダメです。「今日はここまでずっと自分のやりたいことをやってきたから、ここから先は勉強の時間に充てよう」などと自分でコントロールできるようになってください。3学期は特にこのことに注意して過ごしてください！1歩も2歩も成長できるはずですよ。

☆ 1月19日、20日に向けて

この日は1、2年生は進研模試（1年生は19日のみ）、3年生はセンター試験（80名）が実施される日です。1、2年生は範囲が広いからといって、何も対策を取らずに臨むのはやめましょう。過去の模試や考査を振り返ってどんなミスをしてきたかを考えたり、苦手な分野の復習をしたりするなど、できることを精一杯して臨まないで模試を受験する意味は薄れます。以前も述べましたが、再度、模試を受験する目的を考えてください。2学期の終わりに、11月に実施された進研模試の検討会（結果の分析会）を行いました。その中で“課題の提出率がよくない”ということが話題になりました。

このことは非常に気になります。このことも以前述べましたが、課題については各教科担当の先生が先を見据え、計画立てて出題しています。難しい問題、標準的な問題、易しい問題など様々出題されていると思いますが、その1問1問を何気なく出題しているわけではありません。なぜ、ここでこの問題を出題するのかという意味を考えながら出題しています。「この時期にこの問題が解けるようになると次の考査や模試でこの部分の力がつくから絶対に理解してもらわなければならない」という思いで出題しているのです。意味のない課題は出しませんので、必ず提出してください。勿論、どうしてもわからない問題はそのまま提出してよいのです。戻ってきた後、質問に行ったり解答を見るなどして理解すればよい。課題をする目的は自分のわからない部分を発見し、そこをわかるようにすることだと認識してください。

センター試験を受ける3年生（80名）はいよいよですね！今まで数々の模試を受けてきました。皆さんの頑張りを先生達はずっと見てきました。そしてできる限りのアドバイスをしてきたつもりです。今、多少不安な気持ちでいる人は心配しなくてよいです。全国受験生が大なり小なり不安な気持ちでいるはずですよ。なぜなら学習にはゴールがないからです。ゴールがないから進めるところまで進まなくてはなりません。さあ、まだセンター試験まで数日残されています。前を向いてできるところまで進めていきましょう！毎年のようにセンター試験直後に生徒達から「直前にやった問題が出ました！！」という声を耳にします。最後まで諦めなかった生徒達に受験の神様が微笑んでくれた瞬間なのではないでしょうか？

3年生Ⅱコースの生徒は進路内定者集会で話した内容を実行できているのでしょうか。卒業するまでの残された時間、学習にしっかり取り組んで後悔のない高校生活にしていきたいましよう！

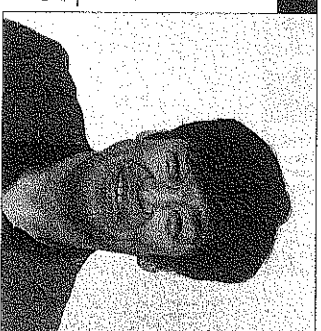
☆ 生徒の皆さんへのお願い………想像力を持って生活すること！

私自身が最近よく感じることがあります。それは歳を重ねると想像力が低下してきているのではないかとことです。落とし穴は「常識」という2文字です。「それって常識じゃん！」で済ませてしまうと、そこから先を考えなくなってしまふからです。これはよくよく考えれば非常に恐ろしいことで、思考が退化し人間が人間でなくなっていくような気がするのです。（少し大袈裟？）皆さんは日頃の生活で、想像力を駆使できているのでしょうか？

1つ例を挙げます。例えば新聞の中で戦争に関する記事を読んだとき、どのようなことを想像（思考）するのでしょうか。「ひどい！」とか「亡くなった方はかわいそう！」とかは考えるかもしれませんが、記事の内容から現場の状況がある程度細かく想像できている人はいるのでしょうか。自分の目の前で何人もの人達が殺され、辺りが人間の血の匂いで充満している。人々の泣き叫ぶ声、それを打ち消すような銃砲の音など、そういうことまで想像できれば、誰もが一刻も早く戦争などをやめて欲しいと思うはずです。「よその国のことだから」とそこで思考を止めてしまえば、いつまで経っても平和な世界は訪れないのではないのでしょうか。

※裏面は学研の進学情報からの抜粋です。是非お読みになってください！

記憶した知識の中から考える力が生まれる



池田義博 世界記憶力選手権 記憶力グランプリマスター

学童指導要領などで「生きる力」について語られるように...

池田 もし僕が小学校2年生とトランプの「神経衰弱」をやら...

どんな記憶法も基本は同じ

池田 もし僕が小学校2年生とトランプの「神経衰弱」をやら...

池田 記憶法や記憶術と呼ばれる...



脳にまかせろ 池田義博 3回読んでも読める

池田 僕がやっている記憶法は、...

池田 記憶法は、記憶を確実に強化でき...

池田 記憶法は、記憶を確実に強化でき...



池田 記憶法は、記憶を確実に強化でき...

池田 記憶法は、記憶を確実に強化でき...